

令和6年度

春日部市立飯沼中学校

交流体験



全学年

特色

- 本校では、各教科・領域で育てた力を関連づけることで学びを深め、現代的な諸課題に対応できる生きて働く力を育てるために教科横断的な学習に取り組んでいる。その学びを活用する場として、本校では体験的学習と地域連携教育を推進している。①学区内小学校との交流による異年齢学習（ザリガニ釣り、さわやか集会等）②地域との交流による防犯、防災、地域連携学習（地域行事お手伝い、ゲストティーチャー等）③海外との国際交流学習（日本人学校とのオンライン交流）など多くの活動を行っている。こうした活動から、自ら課題を見つけ、方策を考え、取り組んでいく姿勢を育てるとともに豊かな心、コミュニケーション力を身につけ、これからの社会を生き抜くことのできる生活の底力を育てている。

生徒の感想

- 小学生との交流は、どうすれば思いが伝わるかなど考えたので、とてもよい経験になった。
- 防犯キャンペーンに参加し、地域の一員である私たちが協力していく必要性を改めて感じた。
- 今回の交流を通し、海外についてとても興味が湧いた。

成果

- 地域との交流から、生徒が地域の一員であるという自覚を持ち、地域と積極的に関わろうとする意識が高まった。
- 地域との交流の推進によって、生徒と地域のつながりが深まると同時に地域からも多くの働きかけをいただけるようになった。
- 教科横断的に学習を進めることで、どちらの領域もより学習効果を高めることができた。